

# 「トハイエ」を含む文の分析

## An Analysis of Sentences that involve *Towaie*

高 橋 美奈子  
Minako TAKAHASHI

キーワード：トハイエ、ト（ハ） イッテモ、「pトハイエ…」、後件に関する予めの言及

### 1. はじめに

論者は前稿（高橋2015）において、接続形式「といても」と「とはいっても」（以下、まとめて「と（は） いっても」と表す）を内部に含む文を分析した。これらの形式と類似の意味用法を持つとされる形式に、「とはいえ」がある（以下、説明中では「ト（ハ） イッテモ」「トハイエ」と表記する）。

（1） 三月半ば }と（は） いっても／とはいえ}、まだ寒い日が続いている。

確かに（1）のように、「ト（ハ） イッテモ」と「トハイエ」が置き換え可能なことも少なく、その場合の両者の意味用法は同じと見なしてもよいだろう。

先行研究から、「とはいえ」に関する記述を2点引く<sup>1)</sup>。

（2）【とはいえ】 節や文を受け、「それはそうなのだが、しかし」といった意味を表す。前のことがらから予想・期待されることと結果が食い違うような場合に用いられる。書きことば。「とはいいいながら」「とはいうものの」「と（は） いっても」に言い換えられる。（グループ・ジャマシイ 1998）

（3）「と（は） いっても」「とはいえ」「そうはいっても」は先行部の事態から予測される内容に、後続部で一部制限を加えることを示す。「と（は） いうものの」「そうはいうものの」などもほぼ同じように用いられる。（日本語記述文法研究会2009a）

論者は前稿で「と（は） いっても」が介在する文・文連続について次のようにまとめた。

（pは前件、「ト（ハ） イッテモ」の後のあとの「…」は後件を表す）

（4）「pト（ハ） イッテモ…」は、pを提示する・pと表現することをした上で、pに対する普通の・通常の・尋常な・順当な理解、あるいはpに基づく普通の・通常の・尋常な・順当な解釈が不適切であることを示し、適切な理解のために必要な内容を後件に記す。

(4)の内容は(2)や(3)とも通じる。先述のように「トハイエ」の意味用法には「ト(ハ)イッテモ」のそれと共通する部分があると言える。だが、両者がすべてにわたって同じというわけではない。

本稿は、「トハイエ」(「とはいえ」の他、表記上のバリエーションである「とは言え」「とは云え」も含める<sup>2)</sup>)を含む文や文連続「pトハイエ…」を分析し、この形式の特徴を明らかにすることを目的とする。

以下、2では「トハイエ」と、既に分かっている「ト(ハ)イッテモ」との共通の特徴や意味用法を確認する。3以降で「トハイエ」のそのほかの特徴について記述していく。

## 2. ト(ハ)イッテモとトハイエの比較

### 2-1 pの単位について

「トハイエ」を含む文・文連続においてpすなわち前件として提示されるものは、語、節、文、文脈(複数の文)に亘り、この点は「ト(ハ)イッテモ」と同様である。それぞれ1例ずつ、pに当たる部分に点下線\_\_\_\_\_を施して示す。なお、本稿で示す実例は、書籍、新聞web版、「現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)」から採取した(例文末尾に出典を記す。実例中の「／」は、原文では改行されていたことを表す)。

- (1)【語】(再掲) 三月とはいえ、まだ寒い日が続いている。
- (5)【節】 母国で実弾所持は日常化していても、日本では重大犯罪。昨季まで韓国でプレーしていたとはいえ、球団は来日前に指導を徹底すべきだった。(朝日新聞2016.0223)。
- (6)【文】小アジアに入ればそこからは、もはやイスラムの世界と言ってよい。とはいえバグダッドが中心のイスラム世界にすれば、ビザンチン帝国から奪ったばかりの小アジアは辺境の地になる。(『絵で見る十字軍物語』)
- (7)【複数の文】もうすぐ春分の日です。道路脇のジンチョウゲが、ふうわりとよい匂いを漂わせてくれるので、通るたびに気持ちが華やぎます。[以下、気候がよく気持ちが穏やかになる良い季節であるという記述が数文にわたって続く]／とはいえ、花粉症の方にはつらいシーズンでもあります。(読売新聞2016.0314)

### 2-2 前件が表わすもの、および後件の内容について

前稿に記したことであるが、「ト(ハ)イッテモ」を含む文・文連続である「pト(ハ)イッテモ…」は、前件pが表すもの、及び後件の内容に着目すると、表1のように整理できた。

表1 【「pト（ハ）イッテモ…」の文の分類】

	pが表すもの	後件に記される内容	備 考
A	・ カテゴリー ・ 事態 ・ 言語表現 ・ 発話・記述行為	pにそぐわない内容 ： pから直ちに、あるいは通常想起されること —pにおける“普通”や典型、pについての一般的な認識—とは異なる内容、pから予想・期待されるのとは異なる内容	pがカテゴリーを表す場合には、特定存在Xのカテゴリーとして問題になっている場合と、Xがなくpそのものが問題になっている場合がある。
B	カテゴリー	pというカテゴリーに属するものの多様性 ： 同じpというカテゴリーに属するものの中の多種多様性	
C	行為や事態—取り組むべき課題、実現が望まれる事態と見なされているもの	pの実践・実現が、容易に・順調にはいかないという内容 ： pは実践が難しいという意、pの実践にあたり、悩んでいる・困っているという意、pの実践・実現を妨げる要因、pの実践・実現に欠かせない重要事項・p成立の要件	

ここから、「pト（ハ）イッテモ…」に通底する特徴としたのが前掲の（4）である。

「pトハイエ…」という文・文連続の実例を見ると、表1に示したA・B・Cに当てはまるものも多くある。すなわち、1. で触れた、「ト（ハ）イッテモ」と共通する意味用法である。以下、A・B・Cに当てはまる「pトハイエ…」の例を示す。

### 2-2-1 A

#### ◆pがカテゴリーを表す場合

（8）[京極家の龍子姫のことが話題になっている]「いや、近江の名門とはいえ、国も家もなく、ゆきどころのない落魄の姫君でござる。」（『妖説太閤記』上）

（9）（…）元気あふれる男子がふざけて事故を起こさないか、やや心配でもある。そんな問いに「男子校とはいえ、昔のような猛々しい雰囲気はないですよ」と、広報主任の田中正勝教諭が笑って答えてくれた。（読売2015.1201）

それぞれのpである「近江の名門」・「男子校」から一般的に想定されること（例えば“名門にふさわしい境遇にある”・“雰囲気が荒っぽい”等）とは異なる実態が後件で述べられている。

表1の備考欄のように、pがカテゴリーを表す場合には二通りあるが、（8）は「特定存在Xのカテゴリーとして問題になっている場合」（この場合のXは、談話中で話題になっている「龍子姫」）に当たる。（9）は「Xがなくpそのものが問題になっている場合」に当たる。

◆pが事態を表す場合

- (10) セキュリティーは厳しくなり、その中で働く私たちは安全に守られている感じはする。ただ、少し状況は良くなったとは言え、現場近くに住む私は強いストレス下にいる。パリが普段の状況に戻るには、もう少し時間がかかると思う。(読売2015.1208)

p「少し状況は良くなった」から想定されるのは「事態は良い方へ向かっている」といったことであるが、後件ではそれに反することが述べられている。

◆pが言語表現を表す場合

「pト (ハ) イッテモ…」では、pという表現・名称・文言などを提示した上で、「pの字義通りの意味解釈や、pという表現から想起・予想されるのとは異なる内容」((11))、「pという表現・文言にふさわしくない・合わない内容」((12)) など、pという表現と実態とのずれや乖離が後件に述べられるものであった。

- (11) レモンタイムといってもレモンではありません。レモンタイムは、レモンのようなすっとした風味のあるフランス料理にはかかせないハーブ。(朝日2015.0308)
- (12) 不漁続きだったウナギの稚魚の漁獲量が今シーズン、県内で持ち直している。(略) 12年度10.7キロに比べると大幅増だ。／ただ、05年度の2月末では250.8キロも取れており、「好調」とは言っても不漁続きの4年間と比べてのこと。県の担当者は「以前と比べれば相変わらず低い水準。とても資源が回復したとは言えない」(朝日2014.0409)

これに当てはまる「pトハイエ…」の例としては次のようなものがある。

- (13) 二世帯住宅で大変辛い目にあっている方の特徴は、「子どもが小さく、働いていない」ことのようにです。いくら二世帯とはいえ、同居は同居。同じ屋根の下に、日中家に2人主婦がいるというのが、かなりのストレスのようです。(読売2015.1118)

ただし、「ト (ハ) イッテモ」にはよく見られるこの種の例が、「トハイエ」には少ない。また、上記(12)では「トハイッテモ」→「トハイエ」への置き換えは可能だが、(11)の方はやや不自然に感じられる。

- (11)' ? レモンタイムとはいえレモンではありません。

◆pが発話・記述行為を表す場合

「pト (ハ) イッテモ…」には、pが、聞き手(読み手)への質問・提案・勧めなど、話し手(書き手)から聞き手(読み手)に向けて働きかけるような発話(記述)行為になっているが、「ト

(ハ) イッテモ」を介して、それらの発話（記述）行為を無効にするような、pにそぐわない発話（記述）行為が後件で行われるというものがあつた<sup>3)</sup>。

「pトハイエ…」においては、次のような例が見られた。

- (14) [悩み相談。友人に借金を申し込まれて困っている人への回答の一節]「亡くなった祖父との約束で」「尊敬する先生の教えで」など理由は何でもいいから、「誰かにダメと言われている」と人のせいにして断るのはどうだろう。とはいえ、その方法、私もまだ使っていない。(読売2016.0307)

前件で提案・助言をしておきながら、後件ではその提案・助言の有効性や説得力に疑問を抱かせるようなことを述べるという、前件の発話（記述）行為にそぐわない行為を行っている。

## 2-2-2 B

Bの類型とは、pがカテゴリーを表すが、それが同一と括られるもの、あるいは何らかの点で同一であると見なされるものであり、そこから「他の点についても同一である」との想定が浮かぶが、後件としてはそれらに相違点がある、あるいは多様性が見られるといったことが述べられるというものである。「pトハイエ…」においては、次のような例がある。

- (15) [オウムの子・ローリーと、それより年少の数羽（チビたち）が話題] この時ローリー1.3歳、チビたち0.3歳で（略）。また、同じ種類とはいえ、体の大きさも性格もまちまちで、しかし、一つ上のローリーが全て先行し、チビたちが後からついていく。(BCCWJ書籍／歴史)
- (16) [日本酒の醸造元がフランスでのワイン生産を始めるという記事の一節]（略）同じ醸造酒とはいえ、日本酒とワインでは、原料も製造工程も異なる。(読売2016.0313)

(15) は、表1の備考欄で言及のあるうちの「特定存在Xのカテゴリーとして問題になっている場合」である。談話内で特定の存在X（ローリー及び年少の数羽のオウムの子どもたち）が話題となっており、それらについて説明するのに、Xが属するカテゴリー「同じ種類」という面を取り上げた上でX（複数存在）の多様性を述べている。(16) は「Xがなくpそのものが問題になっている場合」に当たる。ただし、後者の例は少なく、「ト（ハ）イッテモ」によく見られた「一口に」「一言で」等との共起も、今のところ見つかっていない。

## 2-2-3 C

Cの類型とは、pは行為や事態を表すが、その文章・談話においては、取り組むべき課題、実現が望まれる事態と見なされているものであり、後件には、そのpの実践・実現が必ずしも容易にいかない、順調には進まないという内容が述べられるというものである。次のようなものがある。「pトハイエ…」においては、次のような例がある。

- (17) 床をフローリングにし、ソファを合成皮革に張り替え、防ダニ布団を使うのが効果的です。とはいえ、すべて実行するのはたいへんです。まずは、次に挙げるような、簡単にできることから… (略) (BCCWJ雑誌／厚生・医療)
- (18) 来月から家庭でも電気を買う会社を選べるようになる。既存の電力会社や新規参入する事業者がすでに料金メニューを発表、受け付けも始まり、売り込み合戦を展開中だ。とはいえ、これまで地域の電力会社からしか電気を買えなかったのだから、選べといわれても戸惑うことばかり。(朝日2016.0305)

## 2-3 2節のまとめ

以上のように、Aの中の「pが言語表現を表す場合」やBのうちの「Xがなくpそのものが問題になっている場合」には多少の差異も見られるが、表1の「ト (ハ) イッテモ」の持つ意味用法は、「トハイエ」に関しても当てはまると言える。したがって、ここまでのところ、前掲の(4)を元にして、「pトハイエ…」について次のように言うことができる。

- (19) 「pトハイエ…」は、pを提示する・pと表現することをした上で、pに対する普通の・通常の・尋常な・順当な理解、あるいはpに基づく普通の・通常の・尋常な・順当な解釈が不適切であることを示し、適切な理解のために必要な内容を後件に記す。

しかし、今回「トハイエ」を含む文・文連続を観察して、「ト (ハ) イッテモ」を考察した際には見出されなかった特徴も、「pトハイエ…」にはあることがわかった。次節以降でそれについて述べていく。

## 3. 前件が、後件に関する予めの言及を行う「pトハイエ…」

### 3-1 「ト (ハ) イッテモ」に見出しにくい例

次に示すのは、これまでに示してきたのとは様子が異なる例である。

- (20) 政府内では極右の政党、国家民主党(NPD)の解散を求める訴えを憲法裁判所に提出することが決定された。それでも、少数 とはいえ／(?) ト (ハ) イッテモ 過激な排外主義や反ユダヤ主義にひかれる若者が後を絶たない。(BCCWJ書籍／哲学)
- (21) 以前のこと とはいえ／? ト (ハ) イッテモ、光明子は玄昉と男女の関係も結んでいる。(BCCWJ書籍／文学)
- (22) 「SDIは国民の利益か」がテーマの討論会は、予想されていたこと とはいえ／?? ト (ハ) イッテモ、平行線のまま終わってしまった。(BCCWJ書籍／技術・工学)
- (23) 当然 とはいえ／\* ト (ハ) イッテモ、結局この連中の心配していることは自分達の利益だけだ。雪洋が目の前でどんなに苦しんでいても、彼らには撮影ができなくなることのほうが問題なのだ。(BCCWJ書籍／文学)

いずれも原文は「トハイエ」であるが、これを「ト（ハ） イッテモ」に置き換えることは、(20)・(21) では行いにくく（(20)の方はそれほど悪いわけではないが）、(22) (23) ではかなり不自然である。

これらに共通するのは、前件pが、後件において示される事態に関して、予め何らかの点で言及することになっているという点である。何が「少数」なのか（(20)）、何が「以前のこと」なのか（(21)）、何が「予想されていたこと」なのか（(22)）、「当然」と評されるのは何か（(23)）は、後件に至ってわかる（(22)の場合、この文の主題「SDIは国民の利益か」がテーマの討論会”は既出であるが、それがどうなったかは後件に示される）。

「pトハイエ…」という文<sup>4)</sup>には、このようなものが少なからず存在する。pと後件との関係により、「pが後件の事態や事物に付随する限定や制約を表す場合」・「pが後件の事態の時を表す場合」・「pがメタ言語的前置きを表す場合」・「pが後件の事態に対する評価を表す場合」に分けて、順に示していく。

### 3-2 pが後件の事態や事物に付随する限定や制約を表す場合

「pトハイエ…」には、pとして示されるのが、後件に現れる事態や事態中に登場する事物に付随する、何らかの限定や制約に当たるようなものが散見する。pが語句の場合と、句や節の場合に分けて示す（実例中でpに当たる部分に点下線.....を施す）。

#### ◆pが、少ない数量や、少ない・わずかという意味や、限られているという意味を表す語句の場合

- (24) [男女格差の世界ランキングについての報道] 日本が三つとはいえ順位を上げたのは、女性閣僚が増え、「政治」の得点がアップしたからだ。（朝日2015.1119）
- (20)（再掲）政府内では極右の政党、国家民主党（NPD）の解散を求める訴えを憲法裁判所に提出することが決定された。それでも、少数とはいえ過激な排外主義や反ユダヤ主義にひかれる若者が後を絶たない。（BCCWJ書籍／哲学）
- (25) [このケースでは] 医学的には頭部CTは必要ありません。しかし、連れてきた親が「心配だからCTを撮影して欲しい」と強く希望しました。CTを撮影すべきでしょうか？／CTにはそれなりに費用がかかりますし、きわめて小さいとはいえ、放射線被曝のリスクもあります。教科書的には、親の不安に寄り添いつつCTの必要性和潜在的なリスクについてわかりやすく説明し、CTが不要であることを納得いただく、というのが答えです。（朝日2016.0321）

「pが後件の事態やその中に登場する事物に付随する」というのは、例えば（24）では後件で「順位を上げた」という事態が示されるが、pはその上がった順位数である。（20）のpは後件中の「過激な排外主義や反ユダヤ主義にひかれる若者」の数量である。（25）のpは、後件中の「放射線被曝のリスク」の大きさである<sup>5)</sup>。更に例を挙げる。



- (26) 手頃な枝を探し、手折る。武器になるような代物ではないが、何かを持っていると  
ほんの少しとはいえ心強くなる。(BCCWJ書籍／文学)
- (27) …道路が5兆5486億円(同9.3%増)となっており、鉄道がわずかとはいえ減少し  
ているのが目立っている。(BCCWJ白書／国土交通)
- (28) その点では、一部の会社とはいえリストラなどによって雇用に手をつけたことの意  
味は大きい。(BCCWJ書籍／社会科学)
- (29) 憲法9条についての長年の解釈を変更して、限定的とはいえ集団的自衛権の行使が  
可能であるとした閣議決定は、最高裁で違憲状態にあるとの判決が下された衆院選の  
結果成立した政権が行ったものです。(朝日2015.1128)

実例に現れるpの語句としては他に、“「たかが」「ただ／たった」等の副詞＋数量”すなわち書き手が少ないと見なす数量、「短期間」「一時的」「安い」「小さい」「軽い」「目立たない」などがある。このように、pはいずれも、少ない数量、少ない・わずかという意味、限られているという意味を表すという特徴を持つ。

pが少ない数量や限定を表すものである場合、そこから一般に想定されるのは「したがって、たいしたことはない、影響は少ない、評価は低い」といったことであろう。しかし、「トハイエ」を介して後件を示すことにより、後件の事態を重視すべきこと・重大なこと、高く評価できることと見なす書き手の認識が表される。「トハイエ」を用いることにより、「後件に付随するpは数少ない、あるいは限定されている、にも関わらず、後件の事態は重要である、注意すべき事態である、あるいは高く評価できる」ということが示されるのである。

同様の「後件の事態に付随する限定や制約」が前件pとして示され、他の接続形式を介して後件に続く例と比較してみる。(30)～(32)は原文が「ではあるが」「だが」の例である。

- (30) 木や草を燃やしてもダイオキシンは発生するが、産業廃棄物焼却場から高濃度の発生があるように、大量発生の主原因は人工物である。次に多い発生源は、紙やパルプを塩素漂白する過程であり、農薬の製造中に不純物が含まれてしまう場合である。タバコの煙にもわずか {ではあるが／トハイエ} ダイオキシンが含まれている。(BCCWJ書籍／自然科学)
- (31) 出席実現の陰に、世界遺産登録問題の前進があるとの見方もある。官邸幹部はこう語った。「世界遺産問題で、少し {だが／トハイエ} もつれた糸がほどけた結果だ。何かが進めばこちらも動く。外交とはそういうものだ」(朝日2015.0623)
- (32) 私も少し {ではあるが／??トハイエ}、シソやバジル、ミニトマトなどを栽培している。(読売2015.0429)

(30)(31)では「トハイエ」への置き換えができるが(32)では不自然になるという差が生じるのは、(30)(31)の後件内容が「pの少なさにも関わらず、重視すべき・注意すべき事態や特性、高く評価できる事態」と見なし得るものであるのに対し、(32)ではそうは見なしに



くいからではないかと考えられる。(32)では殊更に「トハイエ」を使用する必要はないのである。前置きを示す際の「だが」「ではあるが」が意味的にニュートラルであるのに対し、「トハイエ」は前置きを示す場合でも、「pからの想定に反することを後件に示す」という特性が生きているのだと言えるだろう。

ところで、前置きに当たる少ない数量や限定を表す語を提示するのに一般的によく用いられる形式に「ながら(も)」がある。次は元が「わずか」+「ながら(も)」の例である。

(33) 対外債務の支払遅延問題については、おおむね主要債権国との間で債務救済合意が成立し、また、石油価格がやや持ち直していることもあり、わずか ながら／トハイエ 経済回復の兆しが見えてきた。(BCCWJ白書／外交)

(34) これに関連して、経営管理上の問題の相談先としては、身近で日頃から接触機会の多い「農協」(同30%)、「農業改良普及所」(同29%)等をあげる者が多く、わずか ながら／??トハイエ 税理士や経営コンサルタント等を活用している者もみられる。(BCCWJ白書／農林水産)

(33)で「トハイエ」への置き換えが可能なのは、(30)(31)と同様に考えることができる<sup>6)</sup>。(34)については、原文は“相談先として「農協(30%)」、「農業改良普及所(29%)」、「税理士や経営コンサルタント等(わずか)」がある”と三者を並列しているように読めるが、これを「トハイエ」に置き換えると、「税理士や経営コンサルタント等を活用している者もみられる」という事態が特に重要なこと、注目すべきこととしてクローズアップされているような印象を与えてしまう。

(35) 私も少額 ながら／ですが／ではありますが／??トハイエ 援助させていただきます。

(36) 些少 ながら／ですが／ではありますが／??トハイエ 謝礼をお出しします。

(37) 努力の成果ですね。わずか ながら／ですが／ではありますが／トハイエ 進歩が認められます。

(35)(36)で「トハイエ」が使われると、話し手が「自分が援助する」「謝礼を出す」ことをさも重視し高く評価しているような印象を受け、それは傲慢で不適切な物言いではないか?という語用論的な理由で違和感を覚える。他方、(37)では後件を「重視すべき事態、高く評価できる事態」として示すことは自然である。

ところで、トハイエを介することにより「p(限定や制約)にも関わらず、後件事態は重大である、重視されるべき・高く評価されるべきである」ということを表すのであれば、「ト(ハ) イッテモ」によっても同じ効果が得られるのではと考えられるが、「ト(ハ) イッテモ」の実例はほとんど見られない。前述のような、少ない数量を表す語句、少ない・わずかという意味の語句、限られているという意味の語句、あるいは後述のような「○○ {が／は} 低い」「○○

「が／は」少ない」といった節を、後件事態や後件事態中の事物についての前置きとして持つ例<sup>7)</sup>をBCCWJで検索したところ、「トハイエ」38例に対し、「ト（ハ）イッテモ」は次の1例のみであった<sup>8)</sup>。

- (38) 地方の村民は産土神を奪われて人心が荒れ、小さいとはいっても神社によって生計を立てている小商人たちはたちまち生活に困った。(BCCWJ書籍／歴史)

前述のように、「トハイエ」と「ト（ハ）イッテモ」は意味的には共通点を持ち、(20)や(24)～(29)の例中の「トハイエ」を「ト（ハ）イッテモ」に置き換えることも不可能というほどではない。それにも関わらず実際には「トハイエ」に比して「ト（ハ）イッテモ」が稀にしか用いられないのは、語形の長さのために冗長になることを避けるという理由ではないかと現時点では考えているが、推測にとどまる。この点については今後より詳しく調査・分析する必要があるだろう。

#### ◆pが限定や制約を表す節の場合

- (39) しかし事実がある以上、確率は低いとはいえ鳥インフルエンザが人間に感染する可能性は否定できない。(BCCWJ雑誌／総合)
- (40) そのうえ、バルビツールやメプロバメートよりはるかに問題が少ないとはいえ、ベンゾジアゼピンにもやはり依存性があった。(BCCWJ書籍／自然科学)
- (41) 母と息子、兄と妹というテーマは、M・G・R映画ほどではないとはいえ、こうした新しいスター世代にも継承されている。(BCCWJ書籍／社会科学)
- (42) オランダが主力の1人を欠いたとはいえ、強豪を破ったことは自信になる。(朝日2015.1207)
- (43) 相手は控え主体だったとはいえ、スライダーで2奪三振。(朝日2016.0307)
- (44) 優勝こそ1982～83年までさかのぼるとはいえ、ドイツ有数の大都市ハンブルクにあるHSVはもともと強豪の一つだ。(朝日2015.1208)
- (45) でも私は、家事育児をほぼ全部負担して、パートに毛が生えた程度の収入とはいえ仕事もし、さらに同居の義両親の手助けもし、毎日のように相談や話の相手にもなっており(略)(読売新聞web版上の掲示板「発言小町」)

pは、(39)では後件に現れる事態の起こる確率の低さ、(40)(41)では後件の事態((40)は「ベンゾジアゼピンに何らかの問題があること」、(41)では「(テーマが)新しいスター世代に継承されていること」)の程度・度合の低さ、(42)～(45)では後件の事態や事態中の事物に付随する事態((42)(43)は相手チームや相手選手の態勢や状態、(44)は「HSV」の履歴、(45)は「仕事」の収入)の限定や制約(相手チームや相手選手が万全・最強の状態ではない、優勝歴がかなり前である、収入が高くない)を表している。これらの限定や制約を表すpから通常想定されるのは「したがって、たいしたことはない、影響は少ない、評価は低い」といっ

たことであるが、後件事態を「重視すべき」あるいは「高く評価できる」と見なす書き手は「トハイエ」を使用する、というのは先述の通りである。

### 3-3 pが後件事態の時を表す場合

次に示す例では、pは、後件に示される事態がいつ生じたかを表している。すなわち、(21)では「光明子が玄昉と男女の関係も結んでいた」のは「以前のこと」であり、(46)では「私の親が伯父上を殺害した」のは「遠い昔のこと」、(47)では「戦闘」は「半世紀以上も前のこと」である。

(21) (再掲) 以前のこととはいえ、光明子は玄昉と男女の関係も結んでいる。(BCCWJ書籍／文学)

(46) 「遠い昔のこととはいえ、伯父上を殺害した者の娘である私に対して、これほどまでに…」(BCCWJ書籍／文学)

(47) 昨年(2000年)のイタリアに続いて、ことしの五月、七十代の終わりから八十代半ばの老境にいる在米日系二世の元兵士らとフランスの激戦地跡を巡った。半世紀以上も前のこととはいえかれらにとって戦闘の記憶はいまだに生々しく、(略)(BCCWJ雑誌／総合)

そしてそのpが表す時点は、問題の時点((21)(46)では物語の中の現在、(47)では取材時から隔たりのある過去であるという特徴がある。pが隔たりのある過去であるということで、そこから想定されるのは「ゆえに、問題の時点には影響や有効性はない、あるいは少ない」ということであろう。そこに「トハイエ」を介してその隔たった過去の事態が示されることで、その事態は、pからの一般的な想定に反して書き手(話し手)が注目する事態、重視すべきと見なしている事態という価値を与えられる。「トハイエ」を他の接続形式に置き換えた(21)'は、原文(21)と比べると、後件事態(光明子が玄昉と男女の関係も結んでいたこと)は書き手にはそれほど重視されていない、それほど問題視されていないような印象を与える。

(21)' 以前のことだが、光明子は玄昉と男女の関係も結んでいる。

したがって、この場合も前件pは後件事態に関する前置きの言及ではあるが、pから得られる想定に反して、書き手(話し手)が事態を重視し注目すべきこととして示すために、「トハイエ」が用いられているのだと見ることができる。

### 3-4 pが後件に対するメタ言語的前置きを表す場合

(22) (再掲)「SDIは国民の利益か」がテーマの討論会は、予想されていたこととはいえ、平行線のまま終わってしまった。(BCCWJ書籍／技術・工学)

(48) 国許にお送りした書状にもしたためましたとおり、知らぬこととはいえ、孫娘の三

輪が龍造寺一族に助力いたしましたこと、申し開きの余地もございませぬ。(BCCWJ書籍／文学)

- (49) 自分が決めたこととはいえ、十年も一緒に暮らしていた娘がとつぜん家からいなくなるというのはさびしいことだった。(BCCWJ書籍／文学)

それぞれのp「予想されていたこと」「知らないこと」「自分が決めたこと」は、後件に現れる事態「(会議が)平行線のまま終わったこと」「孫娘の三輪が龍造寺一族に助力したこと」「十年も一緒に暮らしていた娘がとつぜん家からいなくなる事」についての思考や知識を表しており、後件中の事態に対するメタ言語的前置きになっている<sup>9)</sup>。

このような文において「トハイエ」が用いられることの意味は何か。(48)の場合、pの内容「話し手は知らなかった」から想定できるのは、「だから話し手は当時何もできなかった」「話し手が何もできなかったことは仕方がない、話し手に責任はない」といったことであろう。しかし、実際には話し手は自分が何もしなかったことを悔いている、あるいは後ろめたく思っているので、後件において「申し開きの余地もございませぬ」と謝罪の意を表明している。「知らなかった」ことは言い訳にならない、というのが話し手の認識である。ゆえに前件と後件は「トハイエ」を介して繋がれているのである。(49)では、p「自分が決めた」から想定されるのは「したがって、後悔や不満は生じないはずだ」「愚痴を言うべきではない」といったことであろうが、実際には書き手はその想定に反して「～はさびしいことだ」と、真情を吐露している。(22)では、p「結果が予想されていた」から想定されるのは、「結果に対する心構えがあり、特に驚きや失望はない」といったことであろう。(22)の後件は結果事態のみの記述だが<sup>10)</sup>、「トハイエ」で繋がれていることで、結果に対して書き手が残念な気持ちや失望、不満等を抱えていることが読み取れるのではないか。

(22)の前置き部分を他の接続形式「だが」「ではあるが」で示した例と比較してみる。

- (22)'「SDIは国民の利益か」がテーマの討論会は、予想されていたこと 「だが／ではあるが」、平行線のまま終わってしまった。

(22)'では、結果事態に対する書き手の感情(残念な気持ち、失望、不満等)は特に感じられず、中立的に思える。これと比べると、元の(22)には、結果に対する書き手の残念な気持ちや失望感が読み取れる。

「ではあるが」が後件の事態に対する前置きを提示する場合と、更に比較してみる。次は原文が「ではあるが」の例である。

- (50) [野球選手の背番号が話題] よく知られている話 「ではあるが／\*トハイエ」、王は早稲田実業高校時代はエースとして、甲子園の優勝投手となり、巨人入団時から「1」をつけたが、投手から野手に転向後も、現役、助監督、監督時代も一貫して「1」を背負った。(読売2015.1228)

- (51) 今までのマイナンバー詐欺の手口を見ると（略）まるでマニュアルがあるかのよう  
に同じパターンだ。筆者の推測 {ではあるが／\*トハイエ}、組織的な詐欺グループ  
が動いていると思われる。（読売2015.1130）

上の例では、前件から想定されることと後件の内容に対立があるというわけではない。そのため「トハイエ」では不自然になる。

### 3-5 pが後件の事態に対する評価を表す場合

- (23)（再掲）当然とはいえ、結局この連中の心配していることは自分達の利益だけだ。雪  
洋が目の前でどんなに苦しんでいても、彼らには撮影ができなくなることのほうが問  
題なのだ。（BCCWJ書籍／文学）
- (52) ペリーは、当然のこととはいえ、本国からの指示を実行していた。（BCCWJ書籍／  
歴史）

p「当然（のこと）」というのは後件に現れる事態「結局この連中の心配していることは自分達の利益だけである（こと）」((23))、「(ペリーが)本国からの指示を実行していた(こと)」((52))に対する評価付けである。「当然(のこと)」という評価からは「そうあるべきこと」「納得できる」「文句を付けることはできない」といったことが想定されるが、「トハイエ」を介することで、「しかし後件の事態に、本心では納得が行かない、不満を持っている」といった書き手の認識を読み取ることができるだろう。

同様の例はまだ少数しか見つけられていないが、pが後件事態に関して予め言及することになっているという特徴を持つ「pトハイエ…」の文の一種として、3節の最後に挙げておく。

### 3-6 3節のまとめ

以上、「ト（ハ）イッテモ」には実例がほとんど見られない、「トハイエ」の特徴的な用法と思われるものを挙げて説明してきた。既に述べたように、これらの「pトハイエ…」は、pが、後件において示される事態やその中の事物に関して、予め何らかの点で言及することになっているというものである。

ところで、藤田保幸（2000）は「トハイエ」について、「トイッテモ」同様、前件から出てくる推論を否認する形での論理展開を表す形式であり、「トイッテモ」<sup>12)</sup>と置き換え可能な例も多いが、両者にはずれもあると述べている。藤田（2000）は、「トハイエ」の用法として次の二つが区別されるとする（下のまとめ方は論者による。例文番号は私に改めた）。

#### ● 前件が後件に対して「補足的」な場合

例：(53) 喜助は、知らなかったとはいえ、罪を犯した。

・前件が後件に対して「補足的」なもの。前件は後件について、その事情・背景を説明・補足する。

- ・((53) のような例は、)「発想としては『罪を犯した』という伝達内容がまずあって、それを発想の起点として、そのことについて先まわりして一応説明するという逆行的構成の表現だといえる」(藤田2000 p.429)。
- ・「トイッテモ」に置き換えることができない。

● 前件と後件が「対立的」な場合

例：(54) 三郎は、悪党だとはいえ、古い友人だ。

- ・前件と後件は、別々に共存する二つの事柄であり、「対立的」とでも言うべき関係である。
- ・「トイッテモ」に置き換えられる。

本節3. に示してきた「pが、後件において示される事態やその中の事物に関して、予め何らかの点で言及することになっている」ような「pトハイエ…」について、論者は、書き手の主眼は後件内容を伝えることにあり、その後件に関する情報、部分的な説明を予め示しておくという表現方法であると考える。ゆえに、(53) についての藤田(2000)の説明には首肯する。ただし藤田(2000)の言う「前件が後件に対して『補足的』な場合」の例としては(53)が挙げられるのみで、他にどのような例がそれに相当するのかは記されていない。本稿の「pが、後件において示される事態やその中の事物に関して、予め何らかの点で言及することになっている」ものについては、前掲のように、「pが後件の事態や事物に付随する限定や制約を表す場合」(3-2)、「pが後件の事態の時を表す場合」(3-3)、「pがメタ言語的前置きを表す場合」(3-4)、「pが後件の事態に対する評価を表す場合」(3-5)があることを示した。

藤田は「前件が後件に対して『補足的』な場合」に「トハイエ」→「トイッテモ」への置き換えができない理由を、この場合の「トハイエ」は「逆行的構成の表現」であるが、「トイッテモ」は「相反する別個の事柄を対比して述べていくことに重点のある表現」で、「別個のものとして『対立的』に意識される事柄を順次取り上げていく発想の、順行的構成の叙述を形成する言い方」(p.429)であり、両者(「トハイエ」と「トイッテモ」)の発想の展開の仕方と叙述の進め方が矛盾をきたすためと説明している。この説明に関しては、論者はその正否を判断する段階にまだない。今後の課題としたい。

4. あまり整っていない文章・談話中の「pトハイエ…」に見られる現象

3. も含め、これまで示してきた「pトハイエ…」は、pから想定されることに反するような内容が後件に示されるものであった。しかし、話し言葉や、それほど改まっていらない書き言葉など、あまり整っていない文章・談話においては、異なる傾向も見られる。pから誰しもが容易に想定や推論することに反する内容を後件で述べるというわけではない場合にも、「トハイエ」が用いられていることがあるのである。

- (55) [2015年GQ Men of the Year受賞コメントより] とてもとても嬉しいです。(略) 日本だけでなく、『GQ』は海外でも認められている賞なんだなと思いました。僕自身憧



れていた雑誌でしたので、とても嬉しいです。とはいえ、まだ32年しか生きていない中で若造が男も何もまだないと思うので、この賞をいただいたのは、これからイイ男を目指して精進して頑張っていけよ！というメッセージだと思いますので、真のジェントルマンを目指して頑張りたいと思います。(朝日2015.1119)

(55) では、嬉しいという素直な心情を重ねて述べて来て一転、「若造が男も何もまだないと思う」「精進して頑張っていけというメッセージだと思って頑張りたい」と、謙虚な姿勢で真面目な意思表示をするというように、後件は前件とかなり異なる内容になっており、話し手がそれを意識してか「トハイエ」を使用したことには頷ける。しかし次の例など、なぜ「トハイエ」を用いているのか、一見わかりにくい。

(56) [軽キャンピングカー使用体験記。旅行の様子や車の特徴が数段落かけて説明されている]／コンビニで仕入れてきたハイボールと、カミさんは風呂上がりのおやつ、と称するスイーツを堪能したら、早々に寝る支度にかかろうか、ということになりました。／とはいえ。です。我が家が普段愛用しているキャンピングカーはアメリカ生まれの大型タイプ。インディ 727の室内長が、わが愛車の室内幅に匹敵します。常日頃、ショーのセミナーなどで「ベッド展開するのは夜疲れている時で、晴れているとは限らないし、暑いときも寒い時もあるから、それを考えて！」と言い続けてきた私です。おまけに外は雨。ルーフを展開して立てるようにはなっているものの、ベッド展開となると、まずは荷物をよけ、人があっちへこっちへ、右往左往。決して小柄な夫婦ではないのでなおさらです。[この後、どうやってベッドを展開したかという話になる](朝日2015.1108)

前件と後件がなぜ「トハイエ」で繋がれるのかが読者にはわかりにくいですが、後件は、備え付けのベッドを出して使うのに手間がかかったという話になっていくので、書き手としては、それまで順当に進んでいた物事にここでつまずきが生じ、以後は苦勞する展開になるということから「トハイエ」を差し挟んだのだらうと考えられる。「トハイエ」が、それまで述べてきたこと(前件)とは性質の違うことを述べる際の標識のように用いられている(「とはいえ。です。」と「トハイエ」を強調している点も面白い)。次例についても同じように考えられる。

(57) 一昨日、すごく気になるニュースを発見してしまいました。それは〈交通事故〉高3の自転車にはねられ63歳男性死亡 船橋 というタイトルのニュースです。ここでポイントになるのは自転車にはねられたということです。今時、車の人身事故で死亡保障は無制限があたりまえ。保険金が1億円以上になることもザラのご時勢です。・・・とはいえ。自転車には車のように自賠責保険が強制されておらず無保険の場合が多いと思われます。もし、死亡事故を起こしてしまったら・・・考えただけでもぞっとしますよね。(BCCWJ Yahoo!ブログ／生活と文化)



前件の内容は、車の事故の保障が高額であることである。書き手は車の場合に言及しておいて、自転車に話題を転じる際に「トハイエ」で繋いでいる。

このように、前件pから誰しもが直ちに想定できることと対立する内容を述べるのではなくても、書き手（話し手）が「これまで述べてきたのとは違うことをこの後に述べる」という程度の認識のもとに「トハイエ」を用いる、という使い方が、書き手（話し手）が形式を整えることをあまり意識せず文を連ねていくような文章・談話では見受けられるのである。次の例など、ここで「トハイエ」を使用する必然性はないと思えるのだが、書き手にしてみれば「ここまで息子のことを述べてきたが、ここからは自分の子どもの頃のことを述べるから」ということで「トハイエ」を使用しているのではないかと思われる。

- (58) 小学生男児の母です。／うちの子は、小さい頃隙間が大好き（？）でした。ちょっとした隙間に手などを入れたがるんです。(略)／よちよち歩きの頃は、開いたドアと壁の隙間（ちょうつがいのある側）に指を入れ、知らずに閉めそうになって大あわてでした。／とはいえ私も思い返してみると、隙間好きだったかも…。壁とタンスの隙間に入ってみたり、おばあちゃんがコタツに入っていると、おばあちゃんとコタツの隙間（膝の上）に入りたがったり…。／きっと落ち着くのだと思うのですが、私たちの他にも「隙間好き」の方、いらっしゃいますか？（読売新聞web版上の掲示板「発言小町」）<sup>13)</sup>

話し言葉や、あまり整っていない書き言葉に見られる現象ということで、「pトハイエ…」の典型的・中心的な用法ではないが、用法のずれという点で興味深いので、ここに記した。

## 5. 終わりに

以上、本稿では「pトハイエ…」という文を観察・分析し、その意味用法や特徴について示した。

最後に、4節に示した現象は中心的な用法ではないということで措くとしても、3節に示した意味用法と、2節に示した意味用法を組み込んだ「pトハイエ…」の文・文連続の分類を示す。

表2【「pトハイエ…」の文・文連続の分類】

	pが表すもの	後件に記される内容	備 考
A	・ カテゴリー ・ 事態 ・ 言語表現 ・ 発話・記述行為	pにそぐわない内容 ： pから直ちに、あるいは通常想起されること —pにおける“普通”や典型、pについての一般的な認識—とは異なる内容、pから予想・期待されるのとは異なる内容	pがカテゴリーを表す場合には、特定存在Xのカテゴリーとして問題になっている場合と、Xがなくpそのものが問題になっている場合がある。
B	カテゴリー	pというカテゴリーに属するものの多様性 ： 同じpというカテゴリーに属するものの中の多種多様性	
C	行為や事態—取り組むべき課題、実現が望まれる事態と見なされているもの	pの実践・実現が、容易に・順調にはいかないという内容 ： pは実践が難しいという意、pの実践にあたり、悩んでいる・困っているという意、pの実践・実現を妨げる要因、pの実践・実現に欠かせない重要事項・p成立の要件	
D	後件に関する予めの言及 ・ 後件の事態や事物に付随する限定や制約 ・ 後件の事態の時 ・ 後件の事態に対するメタ言語的前置き ・ 後件の事態に対する評価	pにそぐわない内容 ： pから直ちに、あるいは通常想起されることとは異なる内容、pから予想・期待されるのとは異なる内容	

3節で扱ったような「pトハイエ…」をDとした。

また、「pト（ハ）イッテモ…」と共通の意味用法を持つ場合については（19）を示したが、これにも補足が必要になる。次のように改める（ここにも4節の現象は含めていない）。

（59）「pトハイエ…」という文・文連続には次のものがある。

- p（前件）に対する普通の・通常の・尋常な・順当な理解、あるいはpに基づく普通の・通常の・尋常な・順当な解釈が不適切であるとして、適切な理解のために必要な内容を後件に記す。
- ある事態を提出するに際して、その事態に関する言及をp（前件）として予め提示し、pに対する普通の・通常の・尋常な・順当な理解、あるいはpに基づく普通の・

通常の・尋常な・順当な解釈に反する性質や価値を、その事態（後件に示される）に持たせる。

今後は、「トハイエ」の記述を精緻にするとともに、引き続き「トイウ」に由来する接続形式について分析していきたいと考える。

## 注

- 1) 「と（は）いっても」と「とはいえ」に同じ説明を与え、置き換え可能とするものに、グループ・ジャマシィ（1998）、友松・宮本・和栗（2007）、日本語記述文法研究会（2009a）などがある。他方、藤田（2000）では両者の共通点のみならず相違点も論じられている（後述）。
- 2) 他に、文体的なバリエーションとして「とは申せ」（時代小説で使用）、「とはいえど」もある。また、「といえ」という形も「現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）」に12例見つかった。1例挙げる。  
 (ア) 秀吉には人の心を見抜く才能と同時に、やさしさ、人情味もあったのである。いかに戦国の世といえ、人の心のわからぬ人間に天下を統一できるわけがない。（BCCWJ書籍／哲学）
- 3) 1例を示す。次の例では、pで読み手に質問をしておいて、言下に「答えられる人はいないはず」と、自ら打ち消している。  
 (イ) あなたのご自宅のテレビは、どんなOSを使っているのでしょうか？といっても、それを答えられる人はまずいないはず。テレビはスマホでもパソコンでもないの、「使っているOSがなにか」を気にする必要はありません。（朝日2015.0115）
- 4) この3節で示す「pトハイエ…」は、pが語や句や節で、全体として一文であるものに限られる。pが数文～数段落の文脈で、「トハイエ」が接続詞的に用いられる場合には、pが後件の事態や事物に言及する前置きになることはない。
- 5) 次のような例とは区別される。  
 (ウ) 国際線が欠航することは少ないとはいえ、チョット心配してました（BCCWJ Yahoo!ブログ）  
 上の例ではpは「国際線が欠航することは少ない」という節であり、「少ない」はこの節の述語である。後件に現れる事態や、事態の中の事物が「少ない」のではない。
- 6) 「ながら（も）」は「付帯状況」の用法（例：音楽を聴きながら勉強する）の他に「逆接」の用法を持ち、「ながらも」は専ら逆接を表すとされる（日本語記述文法研究会2008）。（33）は元々p（わずかであること）と後件事態（回復の兆しが見えてきたこと）が逆接的に配置されている文であるため、「ながらも」→「トハイエ」への置き換えも可能なのであろう。
- 7) pは、具体的には次のような語句や節である。  
 「少し」、「少数」、「わずか」、「少人数」、少ない数量を表す語、「一時的」、「短期間」、「低額」、「安い」、「軽い」、「短い」、「小さい」、「遅い」、「～が稀」、「～ {が／は} 低い」「～ {が／は} 少ない」、等
- 8) BCCWJ以外の例としては、現在、「トハイエ」の例が9例見つかったが、「トハイッテモ」の例は見つからない。
- 9) 次のような、「わかっていたこと」「予想していたこと」が指す事態が既出である文とは異なる。  
 (エ) 40年以上前、中学入学と同時に頭髪を丸刈りにさせられた。わかっていたこととはいえ、嫌だった。（朝日2016.3.17）  
 (オ) あのほのぼのとしたユーモラスな句を詠んだ千人風呂を訪ねてみたが、ここもやはりすでに廃業になって、いまはホテルの駐車場などになっていた。予想していたこととはいえ私は少しがっかり

して、今夜の宿である「西村屋」へ向かった。(BCCWJ雑誌／教育・学芸)

- 10) 述語部分の「てしまう」(望まない事態の実現を表す用法)の使用に書き手の認識が表れていると見ることもできる。
- 11) ただし、注9で述べたように、後件の述語部分に「てしまう」があるため、そういった気持ちを感じられなくもない。だが、「トハイエ」使用の場合とは差がある(気持ちが感じられる度合いが薄い)。
- 12) 藤田(2000)は「トイッテモ」を扱い、「トハイッテモ」は扱っていない。本稿では前稿に引き続き、「トイッテモ」と「トハイッテモ」はほぼ同じ意味用法を持つと見なしている。
- 13) この例について、査読者より、「息子の性癖に半ば困っている自分を述べて(自分がどんな立派な子どもだったかと予想させながら)、実は自分も子どもの頃は一緒だったということを述べるから」と理解でき、Aの用法そのものと考えられるのではないかという旨のご指摘をいただいた。論者は、この例の前件からそのような想定・予想は持たず、前件と後件が対立的な内容であるとは思わなかったので、「トハイエ」を用いた書き手にも明確な対立の意識はなかったであろうと解釈した。

あるいは、前件すなわち息子の幼時の振る舞いの描写を読み、この子特有の奇癖、変わった子どもという印象を持ったところに「実は母の私も同じである」と後件で言われれば、前件からの想定と後件内容が対立するということになるかもしれない。しかし、この例の後件に「思い返してみると」「～かも…。」等とあることから、論者は、書き手が考え考え述べている、という印象を受け、ここからも書き手は前件から読み手が得る想定とは対立的な内容を後件に配するという明確な意識は持たないまま「トハイエ」を使用したのではないかと考えた。とはいえ、ご指摘のような解釈も可能であることを否定するものではない。

#### 【参考文献】

- グループ・ジャマシイ(1998)『日本語文型事典』くろしお出版
- 高橋美奈子(2015)「「トハイッテモ」を含む文の分析」『四天王寺大学紀要』第60号 四天王寺大学
- 友松悦子・宮本淳・和栗雅子(2007)『どんなときどう使う日本語表現文型』スリーエーネットワーク
- 日本語記述文法研究会(2008)『現代日本語文法⑥ 第11部 複文』くろしお出版
- 日本語記述文法研究会(2009a)『現代日本語文法⑦ 第12部 談話 第13部 待遇表現』くろしお出版
- 日本語記述文法研究会(2009b)『現代日本語文法② 第3部 格と構文 第4部 ヴォイス』くろしお出版
- 藤田保幸(2000)『国語引用構文の研究』和泉書院
- 森田良行・松木正恵(1989)『日本語表現文型』アルク

#### 【例文出典】

- 「現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)」、『読売新聞』web版、『朝日新聞』web版
- 書籍：塩野七生『絵で見る十字軍物語』(新潮社)、山田風太郎『妖説太閤記』上(講談社時代小説文庫)

